

2024 年度 自己評価結果報告書に関する所感

ひばり会会長 落合 恵次

結果報告書を拝見しました。

大月キリスト幼稚園の教育目標に基づき「保育の計画性」「保育の在り方・幼児への対応」「研修と研究」についての評価結果と取り組みの達成状況を確認しました。「十分に達成されている」と評価されている項目が多く、日頃の先生方の取り組みに感謝いたします。

【私見】

教育目標の中にある「心豊かな思いやり」「自ら考え、自ら決め、進んで行う」という点は、人が生きていく上でとても大切な事だと思います。初めて親元を離れ生活をする幼児期に、その大切な事を丁寧に指導していただける環境は非常に貴重だと感じます。

農園活動や行事、ごっこ遊びや劇作りなど様々な活動の計画の中でも、決して教師主体の保育ではなく、子どもたちの考えや思いを活動に取り入れる保育方針は、キリスト幼稚園の素晴らしい特色だと思います。

また、異年齢との交流が日常に多くあることで、大きい子から優しくしてもらえる喜びや、小さい子に優しくすることを自然に学んでいるのだろうと思いました。

行事や日々の送迎等でキリスト幼稚園を訪問した時に「子ども達の目がキラキラしている、生き生きと楽しそうに過ごしている」様子がとても印象的です。日々先生方が一人ひとりの思いに寄り添ってくださっている事が子どもたちの姿に表れていると思います。

先生方が日々の話し合いで情報共有をしてくださっていることで、子どもと保護者を園全体で温かく見守っていただいているように感じます。また、小さなことでも先生方に相談すると安心でき、その安心は子育ての喜びにつながりました。

年々出生数も減り、社会全体としての移り変わりもありますが、これまで大切にされてきた理念のもと、子どもたちに温かい幼児教育を続けてくださっていることに心から感謝いたします。これからも地域に根ざした園として、子どもたちの成長を優しく見守っていただければ幸いです。